

緑化活動が高齢者の交流に及ぼす影響

—山口県周南市鹿野の風プロジェクトの活動を対象として—

The Impact of Greening Activities on Social Interaction among the Elderly

—Focusing on the Activities of the 'Kano no Kaze Project' in Shunan City, Yamaguchi Prefecture—

田中 亜季*

TANAKA, Aki*

(*長崎大学大学院総合生産科学研究科 学士(工学))

安武 敦子**

YASUTAKE, Atsuko**

(**長崎大学大学院総合生産科学研究科 教授・博士(工学))

2024年10月1日時点の高齢化率は29.3%となり、今後も高齢化率は増加し、それとともに一人暮らしの高齢者が増え、高齢者の孤立も増加していくと予想される(内閣府 令和7年版高齢社会白書)。そこで本論では、山口県周南市の鹿野地区で行われている里山オープンガーデンかのに着目し、その運営団体である「鹿野の風プロジェクト」の活動を対象として、高齢者の他者との関係性構築への効果を明らかにすることを目的とする。

鹿野の風プロジェクトメンバーと庭主へのアンケート、インタビュー調査に加え、行政へのアンケート調査を行った。その結果、地域性を活かした緑化活動を行い、地域の活性化をもくろみながら地域内だけでなく、地域外の人との交流にまでつながっていることが分かった。行政や活動者から地域活性化の活動として今後に期待が寄せられている。また、活動者の一部は後継者問題について懸念している。

キーワード: 『オープンガーデン』『コミュニティ形成』『高齢者』『交流』『緑化活動』

1. はじめに

1.1 研究背景と目的

我が国の2024年10月1日時点の高齢化率は29.3%となり、今後も高齢化は進行すると予想されている(内閣府 令和7年版高齢社会白書)。この高齢者の増加に伴い、一人暮らしの高齢者が増え、高齢者の孤立も増加していくと考えられる。国は高齢社会対策大綱において、高齢期において社会や他者との積極的な関わりを持ち続けられるようにすることが重要であるとしている(内閣府 高齢社会大綱 2024)。また、高藤は孤独な状態にある高齢者に対しては信頼関係形成や、社会的孤立を生じさせない地道な活動すなわちコミュニティの

形成が必要であると述べている（高藤真弓 2010）。内閣府の地方公共団体等へのアンケート調査で得られた先進事例のなかには、高齢者が経験を活かしてガイドをする事例や、高齢者によるビジネス等の様々な高齢者の活動の場が挙げられた（内閣府 高齢者の居場所と出番に関する事例調査結果 平成 23 年）。資料には記載がないものの、高齢者の活動の場の一つに緑化活動があげられ、緑化は地域の美化向上や環境への配慮等につながると考えられる。CiNii において、「オープンガーデン」と検索すると 136 稿あり、「オープンガーデン」「コミュニティ」では自分の研究を除くと 18 稿ある。18 稿のうち閲覧可能な 12 稿をみると、コミュニティ形成の内容が含まれていないものが 6 本、コミュニティデザインに関するものが 1 本、活動参加者の交流に関する記述が含まれているものが 3 本、まちづくりでの交流に関するものが 1 本となっている。

活動参加者の交流に関するものとして、北川らは、宮崎市が行っている「市民が主役の花のまちづくり」に着目し、ガーデニング活動やオープンガーデンを行っている宮崎市の住民を対象にした調査から、オープンガーデン¹⁾まで活動を広げると県内外の人が訪れることにより、交流が生まれ、ガーデニングを通じたアソシエーションが形成されやすくなると述べている（北川恵子、岡山敏哉 2004）。

河島らは、日本におけるオープンガーデン活動状況を探るとともに現在の課題を明らかにすることを目的とし、「個人の庭を広報活動し、グループで広く一般に公開しているオープンガーデン」を「オープンガーデン」と定義し、ホームページやガイドブック、広報誌等から情報収集を行い、75 件を対象に、活動団体や実施地域、開始時期、活動件数について調べている。これらから、オープンガーデンは活動実施団体や公開期間、参加者もそれぞれが違っていることが確認でき、運営主体が民間団体の場合は、ホームページ内で団体の活動イベントや他の民間運営団体との交流や参加者同士の情報交換等が行われていてコミュニティが形成されていることを示している。一方、運営主体が公共性をもつ団体の場合、その多くはガイドブックやマップを作成しホームページで公開・配布をしているが、積極的に他の運営団体との交流や参加者同士の交流はあまり行われていないことが指摘されている（河島敬、上山肇 2015）。

オープンガーデンは住民の地域交流をはじめとして、地域全体の賑わいに影響することが分かる。そこで本論では、山口県周南市にある鹿野地区（旧鹿野町）で行われている「里山オープンガーデンかの」に着目し、その運営を行っている団体「鹿野の風プロジェクト」の活動を対象として、緑化活動を通じた高齢者の他者との関係性構築への効果を明らかにすることを目的とする。

1.2 既往研究と研究の位置づけ

大江らは兵庫県神戸市では市民参加による緑花事業の 1 つとして行われている「市民花壇制度」²⁾に着目して、アンケートやヒアリング調査を行い、その結果から活動者は「地域

のため、美化のため」等の目的や「綺麗と喜んでもらっている」等のやりがいを持って活動しており、その意欲は活動者以外の人から関心が向けられていると感じることで保たれていると述べている。加えて、市民花壇が継続的に成り立つための条件として行政の支援とともに、活動者のやりがいである活動者以外の人との交流が生まれるようにすることを挙げている（大江万梨、太田尚孝 2020）。

赤澤らは阪神・淡路大震災後に公的空間での緑化活動によって従前のコミュニティの継承を試みている「南芦屋浜団地」を調査対象地区とし、震災前から入居後の期間のコミュニティ形成に関するアンケート調査を行った。住棟間にある「だんだん畑」での緑化活動の準備と入居後のコミュニティの地盤づくりのため、把握可能な入居予定者に対して入居までに計8回のワークショップ「楽農講座」を開催し、様々な園芸講座や入居予定者の交流のイベントを行った。アンケートの結果から公的な空間での緑化活動が新しいコミュニティの形成に有効であり、ワークショップによって住居移転後のコミュニティ形成がさらに期待できるとしている（赤澤宏樹、中瀬勲 1999）。

これらの研究から緑化活動やそれに関連するイベントを通して、コミュニティの形成や活動者へのやりがいにつながっていることが分かる。本稿はこれらの研究を踏まえ、緑化活動を主体とした地域活性化活動を約14年間行っている『鹿野の風プロジェクト』の活動を対象として、住民主体で行う緑化活動の効果を分析し、住民主体での活動が高齢者の生活に対し、どのような役割を果たすかについて考察する。

1.3 研究方法

オープンガーデンを同時期に複数の一般家庭の庭を公開しているものと定義し、2023年の春に日本でオープンガーデンを開催した団体やイベント内容についてインターネットでGoogleにおいて、「都道府県名」「オープンガーデン」で検索を行ったところ、90のオープンガーデンが抽出された。これにオープンガーデンを行っている地域の行政が公開している最新の高齢化率を調査し、最も高齢化率の高い、山口県の鹿野地区で行われている里山オープンガーデンかのを選定し、この運営を含めた活動を行っている「鹿野の風プロジェクト」を対象団体とした。

鹿野の風プロジェクトの代表から、これまでのチラシや活動報告書等の活動に関する資料を得、その後随時活動に関しての情報を入手した。2025年4月には、里山オープンガーデンかのに関する庭主向けの説明会にオンラインで参加した。同年5月10、11日に里山オープンガーデンかのの庭の視察や鹿野の風プロジェクトの人に座談会形式でインタビュー調査を行った。同年6月に鹿野の風プロジェクトの代表が認識している鹿野の風プロジェクトメンバーと里山オープンガーデンかのに参加している庭主の計33人に対して、活動者への効果や活動への期待を知るため、アンケート調査（回収率約69.7%、23/33通）を実施した。アンケート内容は活動を通して生じた交流人数の変化や、活動に対する期待に関する

もの等である（表 1）。その後、アンケートにてインタビュー調査に協力可能と回答した 11 名に対し、さらに詳しい内容や活動のエピソードを聞くため、電話を用いたインタビュー調査を行った。質問内容は交流にまつわるエピソードや活動を通じた変化について等である（表 2）。同年 8 月に鹿野の風プロジェクトと関わりがあると考えられる鹿野総合支所と周南市役所に対して、行政側の意見や支援状況を知るため、鹿野の風プロジェクトが行っている活動への評価や支援についてアンケート調査を行った。

表 1. アンケート調査質問内容

アンケート質問内容	
回答者の属性	年齢
	性別
	世帯人数
	ボランティア
鹿野の風プロジェクト	加入理由
	所属年数
	参加頻度
	やりがい
里山オープンガーデンかの	参加形態
	参加回数
	参加前後の交流人数
	参加前後の交流頻度
	今後の参加予定
わくわくガーデン	認知
	参加経験
具体的交流関係	
活動の対する期待	

表 2. インタビュー調査質問内容

インタビュー調査質問内容
アンケート未回答内容
アンケート回答についての深堀 (エピソード内容)
活動のやりがい
活動を通しての変化
活動に対する懸念点

2. 鹿野地区と周南市について

2.1 周南市と鹿野地区の概要

鹿野地区は、1889 年鹿野村として発足し、1940 年に鹿野町、その後、2003 年に徳山市・新南陽市・熊毛町の 2 市 2 町で合併し、現在の周南市となった。

周南市は山口県の南東部に位置し、瀬戸内海に面し、臨海部には、石油化学コンビナートを有している等、工業を主体とした産業構造である（図 1）。JR 徳山駅を中心とする市街地は公共交通の利便性から山口県最大規模の商業地が構成されている（図 2）（周南市緑の基本計画 2021）。市街地の背後にはダム湖が存在している（図 2）。2025 年 5 月末時点では 67,853 世帯、133,787 人である。その中で、65 歳以上の割合は約 33.8%³⁾ である。

鹿野地区は周南市の最北部に位置し、中国自動車道のインターチェンジがあり、交通アクセスが良く、周囲を山々で囲まれた自然豊かな地域である。江戸時代に山代街道沿いに形成された町並みは、交易や領地管理の中心地として栄えた面影があり、歴史的、文化的な資源も数多く残されている（鹿野地域観光振興プラン 2022）（図 3）。2025 年 5 月末時点で鹿野地区は 1,461 世帯あり、2,485 人が居住している。その中で、65 歳以上の割合は約 55.5%³⁾

で、周南市平均よりも高齢化率が 21.7 ポイント高い。

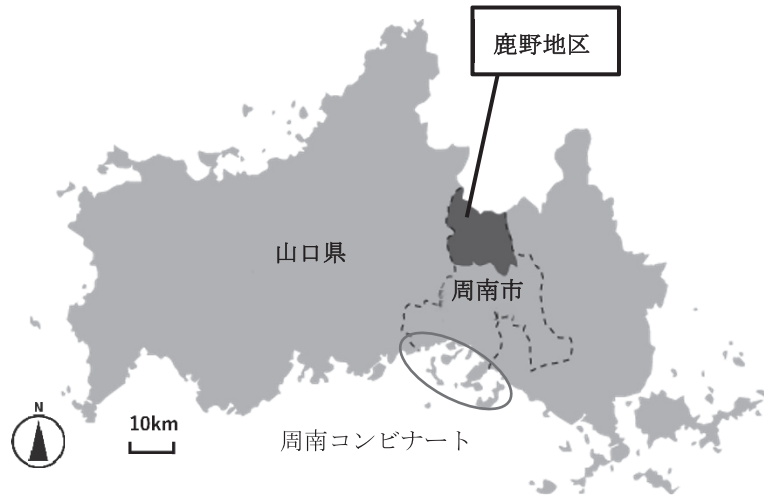


図 1. 山口県内での周南市の位置
(国土地理院地図⁸⁾に加筆)



図 2. 周南市の概要
(国土地理院地図⁸⁾に加筆)

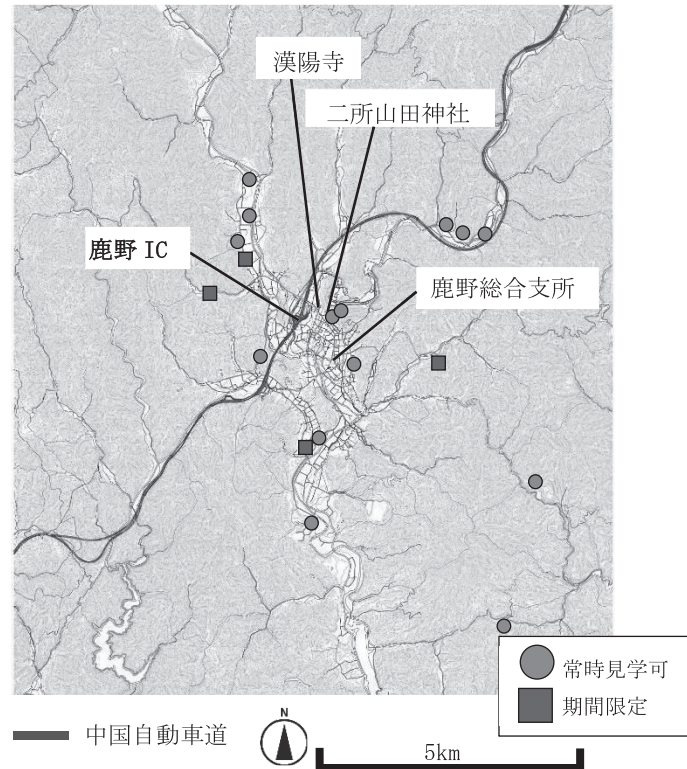


図3. 2025年の参加庭の位置
(国土地理院地図⁸⁾に加筆)

2.2 周南市と鹿野地区のまちづくり

周南市では基本理念を「美しい自然と活力ある産業が調和し快適・安全に暮らし健やかで心豊かにすごせるまち～市民と協働のまちづくり～」とし、中国・四国地方の陸・海の広域交通の結節点としての役割を活かし、快適性を高めるとともに、豊かな自然や歴史、文化にふれあえる都市づくりを行っている（周南市都市計画マスタープラン 2021）。

鹿野地区は周南市の都市マスタープランにおいて、中山間地域にあたり、2020年の国勢調査からこの25年で人口は45.0%減であり、高齢化率は22.2%高くなっており⁴⁾、地域社会の活動等を保持するため、人口の、特に若年層の確保を課題としている。加えて、自然・歴史資源を余暇活動や交流の場として利活用することによる地域の活性化が望まれている状況であると述べられている（周南市都市計画マスタープラン 2021）。鹿野地域観光振興プランでは、鹿野地区総合支所移転跡地に交流拠点を建設する計画が、「地域の人と訪問者の交流を通して地域の理解を深め、地域の持続性を高めていく」という考え方のもと、進められている（鹿野地域観光振興プラン 2020）。景観面では、周南市の緑の基本計画におい

て、「高原の豊かな緑と清流のもと、自然と歴史を味わう癒しのまち」として、天然記念物やシャクナゲ等の動植物の保護をするとともに、公園等のオープンスペースの保全と活用をしていく方針としている（周南市緑の基本計画 2021）。地域力の再生に向けた「夢プラン策定・実現支援事業」では、「明るく元気な鹿野をつくる会」がこの夢プランに取り組んでおり、64 団体が構成され、鹿野の風プロジェクトも構成団体の 1 つである。夢プランでは「きらきら鹿野人」、「にこにこ助け合い」、「いきいき自然」の 3 つの柱を掲げ、具体的には、鹿野地区の行事の後援を行うとともに、知恵を活かし、一人一人が輝くまちづくりのためにふらっと食堂や KANO かくれがマルシェ等のイベントを行っている⁵⁾。

周南市における緑化活動は、現在市が花の種や土の配布を、地域コミュニティ、自治会、有志団体等の団体数は 23 に対して行っている。ただし、この団体に鹿野の風プロジェクトは含まれていない。高齢者を中心とした活動には老人クラブがあり、地域の清掃活動や、地域行事・イベント等に参加・協力している。周南市全域で活動している団体が 1 つ、鹿野地区で活動している団体が 9 つある。インタビュー調査では、鹿野地区にある 3 つの活動の話がでた。一つめは、鹿野地区で行われている里山オープンガーデンなのであり、二つめは、山野草を保護する山野草のエキの活動である。最後に「おでかけえんがわ」という懐かしい「えんがわ」のような暖かい場所を作ることを目的とした古民家でのイベントが行われている。

鹿野地区は、現在人口減少や高齢化等の課題で、市は自然環境豊かな点を活かしたまちづくりを進めており、そのなかで、住民主体の様々な活動が行われている。そのなかには高齢者が活躍している活動もあり、高齢者の交流の機会となっているが地域内での活動にとどまっており、里山オープンガーデンかのように地域外の人を巻き込む活動はない。

3. 鹿野の風プロジェクトについて

現在の鹿野の風プロジェクトは代表者の F さんを中心として助成金をもらって活動し、活動者はボランティアで行っている。助成金の用途は、苗木の費用や、オープンガーデンの開催費用等である。鹿野の風プロジェクトの支援元と活動内容についての構造図を示す(図 4)。

鹿野の風プロジェクトは、2011 年に人口減少が進む地域を変えるために地域活性化を目的として始まった。始まりは、鹿野地区の飲食店経営者が集まり、地域おこしとして期間限定で特産であるいちごやお茶、桜、トマト等を使ったカフェメニューのイベントを行ったことである。その際、鹿野地区への訪問者数は増加したが、一時的で継続はできず、加えて常連客から連日行列ができて、人が押し寄せるため、「ゆっくり過ごせない」という意見を聞いたことがきっかけで、活動の内容を見直した。その際、もともと知り合いであった黒川温泉のまちづくりに携わった人のところに 2 度にわたり視察に行った。その人は「温泉を原風景と言うキーワードと雑木の組み合わせにより、都会の人々に感動を与え、訪れた人はその

感動を他の人に伝えたい」と考えていた。旅館で、出会った旅館のお客さんが友人に旅館のことを伝えたいと話しており、まちづくりへの考えが実現していることに影響を受けた。

それから人口減少と高齢化による地域崩壊を防ぐため、2014年に「木漏れ日計画」を立ち上げ、黒川温泉の事例を参考にし、コナラ等の雑木を街中に植え始めた。活動開始から合計111本の植栽を行い、2017年からは木製ベンチの設置を始め、合計で53脚のベンチを設置している。この活動は、現在も継続しており、予算等から年毎での設置数や植える本数を決めている。2020年からは広島県の「庄原さとやまオープンガーデン」という里山で行われているオープンガーデンの運営を行っている庄原花会議の理事と2018年に会い、「やってみてください」の一言をきっかけに、2020年から4、5月の2か月間にわたって里山オープンガーデンかのを開催した。里山オープンガーデンかのは、2025年で6回目の活動となり、18か所の庭が公開された（表3、図3、図5）。2020年からの里山オープンガーデンかへの参加庭数は表1⁶⁾のようになっている。

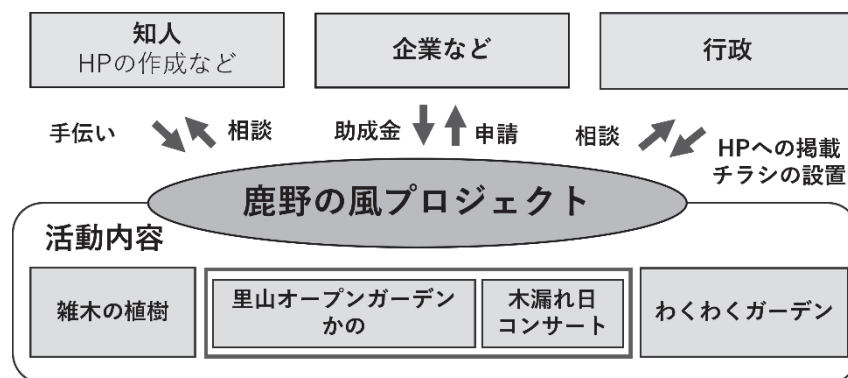


図4. 鹿野の風プロジェクトの支援元と活動内容

2024 年からオープンガーデンの来訪者を増やすために、期間中に「木漏れ日コンサート」を開始し、素人やプロにかかわらず全国からボランティアで演奏に来てもらっている。2022 年から演奏家からの希望で告知なしの演奏会はあったが、2024 年から趣味で音楽を行っていた鹿野の風プロジェクトメンバーの一人が中心となり、チラシに演奏者を掲載し、イベントとして行い始めた。2025 年度から主催者側でスピーカーを 1 台保有し、足りない機材は演奏家が準備する仕組みとなっている。木漏れ日コンサートは 2025 年には 30 組の演奏家の参加があり、オープンガーデンに参加している庭での演奏は土日、祝日で 1 日数回、計 43 回行われた (図 6)。屋外のため雨天中止であるが、自然に囲まれての演奏が無料でできる点が評価され、演奏希望者が昨年から増えている。なお、演奏家からの要望は一切受け付けていない。



図 5. 里山オープンガーデンかの 2025 のチラシ

表 3. 年度別の参加庭数⁶⁾

年度	常時開放	限定開放
2020	13	6
2021	19	6
2022	15	4
2023	16	6
2024	14	6
2025	14	4

NO	日 時	グループ名	ジャンル (楽器)	会場	NO	日 時	グループ名	ジャンル (楽器)	会場	NO	日 時	グループ名	ジャンル (楽器)	会場
1	4/5 (土) 11:00	サウンドボコ (6人)	ポップス・童謡 (Gt.オカリナ)	7	16	4/26 (土) 11:00	Gajibo (1人)	クラシック・オリジナル (Vo. Gt.)	1	31	5/10 (土) 14:00	オカリナ和奏 (和奏) (10人)	クラシック・童謡 (オカリナ)	7
2	11:00	Gajibo (2人)	フォークソング・オリジナル (Vo. Gt.)	14	17	11:00	MU (2人)	ジャズ (Gt. オカリナ)	4	32	5/11 (土) 11:00	ジャズ (Gt. オカリナ)	14	
3	14:00	Piano Duo Reikos (2人)	クラシック・ポップス (ピアノ/ violon)	1	18	14:00	森のカルテット (4人)	ジャズ (Vo. Drs. Gt. Key. Ba.)	4	33	14:00	ユキキーズ (2人)	ポップス (Vo. Gt. Mini Key.)	17
4	4/6 (日) 11:00	古の風・AG (5人)	フォークソング (Vo. Gt. Key. Drs.)	17	19	4/27 (日) 11:00	ユキキーズ (1人)	ポップス (Vo. Gt. Mini Key.)	14	34	5/17 (土) 11:00	レレ・オカリナバ (3人)	クラシック・童謡 (Gt. オカリナ)	4
5	4/12 (土) 11:00	スカレット (5人)	ポップス・童謡 (Gt. オカリナ)	14	20	11:00	アラサーズ (3人)	フォークソング・オリジナル (Vo. Gt. 他楽器)	2	35	14:00	三角定規 (3人)	フォークソング (Vo. Gt.)	2
6	11:00	ユキキーズ (2人)	ポップス (Vo. Gt. Mini Key.)	4	21	14:00	三角定規 (3人)	フォークソング (Vo. Gt.)	17	36	5/18 (日) 11:00	ブ・コンバーニヤ (3人)	フォークソング (Gt. Sax.)	14
7	14:00	奏 (7人)	ポップス・童謡 (Gt. オカリナ)	2	22	4/29 (日) 13:00	土屋洋子 (1人)	クラシック・ポップス (ピアノ)	6	37	14:00	ユキキーズ (2人)	ポップス (Vo. Gt. Mini Key.)	1
8	4/13 (日) 11:00	MU (2人)	ジャズ (Gt. オカリナ)	1	23	14:00	NICO 2 ひろゆみ & 令和 JB (4人)	フォークソング・オリジナル (Vo. Gt. Key.)	2	38	5/24 (土) 11:00	田村恭子 (1人)	クラシック・ポップス (オカリナ)	5
9	14:00	胡弓 (2人)	歌謡曲・民謡 (二胡, 尺八)	7	24	5/3 (土) 15:00	田村恭子 (1人)	クラシック・ポップス (オカリナ)	7	39	14:00	Piano Duo Reikos (2人)	クラシック・ポップス (ピアノ/ violon)	17
10	4/19 (土) 11:00	カナリノ (7人)	ポップス・童謡 (Gt. オカリナ)	17	25	5/4 (日) 11:00	古の風・AG (5人)	フォークソング (Vo. Gt. Key. Drs.)	4	40	5/25 (日) 11:00	レレ・オカリナバ (3人)	ポップス・童謡 (Gt. オカリナ)	2
11	11:00	Piano Duo Reikos (2人)	クラシック・ポップス (ピアノ/ violon)	7	26	11:30	NICO 2 ひろゆみ & 令和 JB (4人)	フォークソング・オリジナル (Vo. Gt. Key.)	2	41	14:00	MU (2人)	ジャズ (Gt. オカリナ)	7
12	14:00	ファンタジー (6人)	ポップス・童謡 (Gt. オカリナ)	4	27	5/5 (日) 13:00	気晴らしの丘 (2人)	民謡・童謡・オリジナル (鍵盤・Gt.)	5	42	5/31 (土) 10:50	土屋洋子 (1人)	クラシック・ポップス (ピアノ)	6
13	4/20 (日) 11:00	ロス・コイツ、サインカ (15人)	クラシック・オリジナル (P. Sax.)	1	28	14:00	NICO 2 ひろゆみ & 令和 JB (4人)	フォークソング・オリジナル (Vo. Gt. Key.)	14	43	14:00	NICO 2 ひろゆみ & 令和 JB (4人)	フォークソング・オリジナル (Vo. Gt. Key.)	17
14	11:00	リバーズ (5人)	フォークソング・オリジナル (P. Sax.)	14	29	5/6 (日) 15:00	中国新聞開井 (5人)	クラシック・ポップス	1	44				
15	14:00	にふふーびる (3人)	民謡・歌謡 (尺八・笙・Vo. Gt. カホリ)	2	30	5/10 (土) 11:00	Piano Duo Reikos (2人)	クラシック・ポップス (ピアノ/ violon)	4	45				

【会場名】 ① マルタガーデン ⑤ 二所山神社 ⑩ 山田ガーデン
 ② 睦道ガーデン ⑥ 宮本ガーデン ⑭ わくわくガーデン
 ④ 911 ガーデン ⑦ ためきの庭 ※裏面マップの記載番号と同じです

【楽器略称】 Vo. (ボーカル) Gt. (ギター) Drs. (ドラムス) Key. (キーボード)
 Sax. (サクソ) Mini Key. (ミニキーボード) 他Hmc. (他楽器/ハーモニカ)
 注意: 天候等により、予告なしに時間変更及び開催中止となる場合がありますので、予めご了承ください。
 また最新情報は WEB でご確認ください。

図 6. 木漏れ日コンサート 2025 のチラシ

論文

2022年からは鹿野の風プロジェクトの活動に賛同したT氏の空き家となっていた土地で、ガーデンづくりしたいが土地がない、DIYしたいができない人も参加することができる共同の庭の「わくわくガーデン」の活動が始まった。この活動はT氏とその親族の2人で行っており、2人とも鹿野地区外に住んでいる。はじめは鹿野の風プロジェクトメンバーを含む数名で行っていたが、現在では第1月曜と第3日曜の月に2回と定例化し、毎回10人程度参加している。その土地にある蔵のリノベーションやピザ窯づくり、レイズドベッドづくり等年々、T氏の描く「誰でも見て、触れて楽しむガーデンにしたい」という将来像に向けて活動の種類は増え、様々な活動が行われてきた(表4)。活動日には、料理が得意な人が作った昼食がふるまわれている。

表4. わくわくガーデンの活動歴

月	2022年		2023年		2024年		2025年	
	活動項目	詳細	活動項目	詳細	活動項目	詳細	活動項目	詳細
1							レイズドベッド 蔵 ミニログハウス	苗植え 蔵前の砂の移動 棚作り
2					ミニログハウス	位置決め	蔵 レイズドベッド	入口の建具補修 苗植え
3	活動開始 ウッドデッキ	塗装	ピザ窯 山野草	土台作り 土作り	ミニログハウス	購入	蔵 レイズドベッド 畑 植栽	入口の建具補修 苗植え ジャガイモ、スナックエンドウ植える 雑木を植える
4	ウッドデッキ 仮設トイレ	塗装 設置	ピザ窯 花植え	コンクリート版設置	オープンガーデン コンサート		オープンガーデン コンサート	キノコ 菌うち、仮伏せ
5	ウッドデッキ 木の伐採	塗装	ピザ窯		オープンガーデン コンサート		オープンガーデン コンサート	
6	畑 木の伐採	芋植え付け	蔵 畑	天井板張り 苗植え	ミニログハウス 畑	屋根張り 芋の苗植え	ピザ窯屋根 ミニログハウス レイズドベッド ベンチ組み立て	柱建て、かわらぼう施工、レンガの煙突 外壁塗装 土入れ
7	ベンチづくり		蔵 畑	天井塗装 フェンス作り	ピザ窯 蔵 ミニログハウス 山野草 植栽	屋根デザイン決め 照明取り付け、内部塗装 メインピース取り付け、床塗装、看板作り 株分け 下見、計画	ピザ窯屋根 蔵 ミニログハウス レイズドベッド 草刈り	瓦葺施工、レンガの煙突 差し掛けと床の塗装 外壁塗装 丸太からベッド作り
8	草刈り		蔵	天井塗装仕上げ	ピザ窯 蔵 ミニログハウス 植栽	屋根基礎作り 入口床造作、塗装、テーブルとイスの準備 周りの整備 計画、芝生の種まき	畑	じゃがいも収穫
9	草刈り				ピザ窯 蔵 植栽	屋根基礎作り 内部見学会 計画		
10	草刈り		蔵 畑	2F壁の下地処理 芋掘り	ピザ窯 蔵 レイズドベッド 植栽	屋根作り 外回りの補修、整備 丸太からベッド作り 樹木植える		
11	畑 草刈り 花植え	芋掘り 床張り	蔵	2F壁上塗り	ピザ窯 蔵 レイズドベッド 畑 植栽	屋根づくり 外回りの補修、整備 丸太からベッド作り 芋掘り 樹木植える		
12					植栽 蔵 レイズドベッド	樹木植える 蔵前に砂をいれる 丸太からベッド作り、苗植え		

里山オープンガーデンか、わくわくガーデンの活動を次世代につなぐ取り組みの一つとして、わくわくガーデンの活動への参加に加え、2024年には地元の大学生とのコラボカフェの企画等にも取り組んでいる。

鹿野の風プロジェクト全体の活動はテレビやラジオ等のメディアに取り上げられており、

見学者は県外からも来ている。2022年には、公益財団法人都市緑化機構による第42回緑の都市賞の「都市緑化機構会長賞」、「山口県農林振興賞」、公益財団法人あしたの日本を創る協会の「あしたのまち・くらしづくり活動賞」を受賞した。

4. 行政からの評価

鹿野の風プロジェクトと関わりがあると考えられる周南市の課に対して、鹿野の風プロジェクトの活動に対するアンケート調査を行ったところ、周南市観光振興課や鹿野総合支所の両方の意見をまとめた回答が得られた。福祉部や都市整備部、地域振興部からは「鹿野の風プロジェクト」とは直接の関わりがないと回答が得られた。

周南市観光振興課や鹿野総合支所の両部署は、鹿野の風プロジェクトの里山オープンガーデンかのをわくわくガーデン以外の雑木を植える活動やベンチ設置の活動の内容、里山オープンガーデンかのを、わくわくガーデンのそれぞれの活動に対しては、住民からの活動に対する相談やイベントのチラシ等を通して認知しており、現在はチラシやポスターの掲載の支援を行っており、今後も相談があれば支援していくようである。両部署は里山オープンガーデンかのをに対する評価は、里山オープンガーデンかのをの賛同者と共に山野草等の地域資源を生かした回遊型のイベントの企画立案を行い、地域全体に活動を広げることで、地域の活性化や市の観光施策に寄与している点で評価しており、鹿野の春のイベントとして継続して開催されることを期待している。わくわくガーデンに対しては、それぞれの目的に様々な人々が集う、参加型イベントとして地域の賑わいに寄与している点で評価しており、オープンガーデンの地域資源を生かした回遊型のイベントとは違うイベントとしての定着が期待されている。鹿野の風プロジェクト全体の活動に対しては、雑木の植栽やベンチの設置から始まった活動は、里山オープンガーデンかのをの開催等地域や行政を巻き込んだ取り組みとなり、マスコミにも大きく取り上げられ、「鹿野」及び「鹿野の風プロジェクト」の名前を県内外に広めた点で評価している。さらに、地域の活性化となるイベントを継続して実施されることが期待されている。

また、周南市観光振興課や鹿野総合支所の両部署からは今後も様々な地域団体からオープンガーデンのような鹿野「ならでは」を生かしたイベントが活発に行われ、新たな交流人口や関係人口が発生することで、地域の活性化や地域愛にも結びつき、プラスの好循環が生まれてくることを期待しているという意見が得られた。

これらから、鹿野の風の活動は周南市観光振興課や鹿野総合支所側から地域活性化につながるイベントとして評価されていることが分かる。一方で、福祉部との関わりはなく、高齢者の生きがいがづくりや集まる機会になっているという評価は得られなかった。

周南市観光振興課や鹿野総合支所は、鹿野の風プロジェクトに対し、資金面の援助は行っておらず、里山オープンガーデンかのをの取り組みに対し、2025年はチラシやポスターの設置、ホームページでの告知等の支援を行っている。

5. 活動者への効果

鹿野の風プロジェクトメンバーと里山オープンガーデンかのに参加している庭主の計 33 人に対してアンケート調査（回収率 23/33、約 69.7%）を実施した。交流の状況を 8 つのレベルに分け、オープンガーデンの参加前後の変化をみていく（図 7）。

回答者の高齢者の割合は約 74%であり、自身を鹿野の風プロジェクトメンバーと回答している人は 14 人、サポーターと回答している方は 1 人、庭主と回答した方は 8 人である。庭主以外の回答は、鹿野の風プロジェクトメンバーとして集計した。

交流はどのレベルにおいても活動参加前より後の方が、交流人数が増えたと回答している人が多く、交流人数に変化がなかった人の多くは活動参加前から交流人数が多い人であった。レベル(1) から(8)のいずれかでも増加したと回答した人は約 78% (18/23 人) であった。特にレベル(2)の外でちょっと立ち話をする程度の関係では、参加前に最も多い回答は 5~9 人 (9 人) であり、参加後は 5~9 人 (6 人) と 10~14 人 (6 人) となった。平均では、参加前が交流人数約 5.9 人であり、参加後は約 12.3 人となった⁷⁾。参加後に 0 人と回答している人はおらず、活動参加前の人数を 1~4 人と回答していた人が 15~19 人になった例や 20 人以上になった例が 1 例等、変化量が多い人がいる。

図 8 は活動参加前後での属性ごとの交流頻度の変化を表しており、「近隣住民」のみ増えたと回答した人が半数を下回っているが、インタビュー調査からは、活動に参加することでほかの活動者等の知り合いが増えたことや、花の苗等のもののやり取りや情報交換をするようになったという声があった。加えて、木漏れ日コンサートの同時開催をすることにより、ボランティアの演奏家や他の客とのつながりができ、鹿野地区だけでなくほかの地域の方との交流のきっかけとなったとの回答があり、交流の幅が広がっている。

また、交流の広がり以外の変化として、インタビュー調査からわくわくガーデンの活動で、様々な人との活動を通して、会話や食事を楽しめるため、生きがいとなっているという声や、花に関する知識や道具の知識が役に立ち、新たな知識が身に付くため楽しいという声があった。

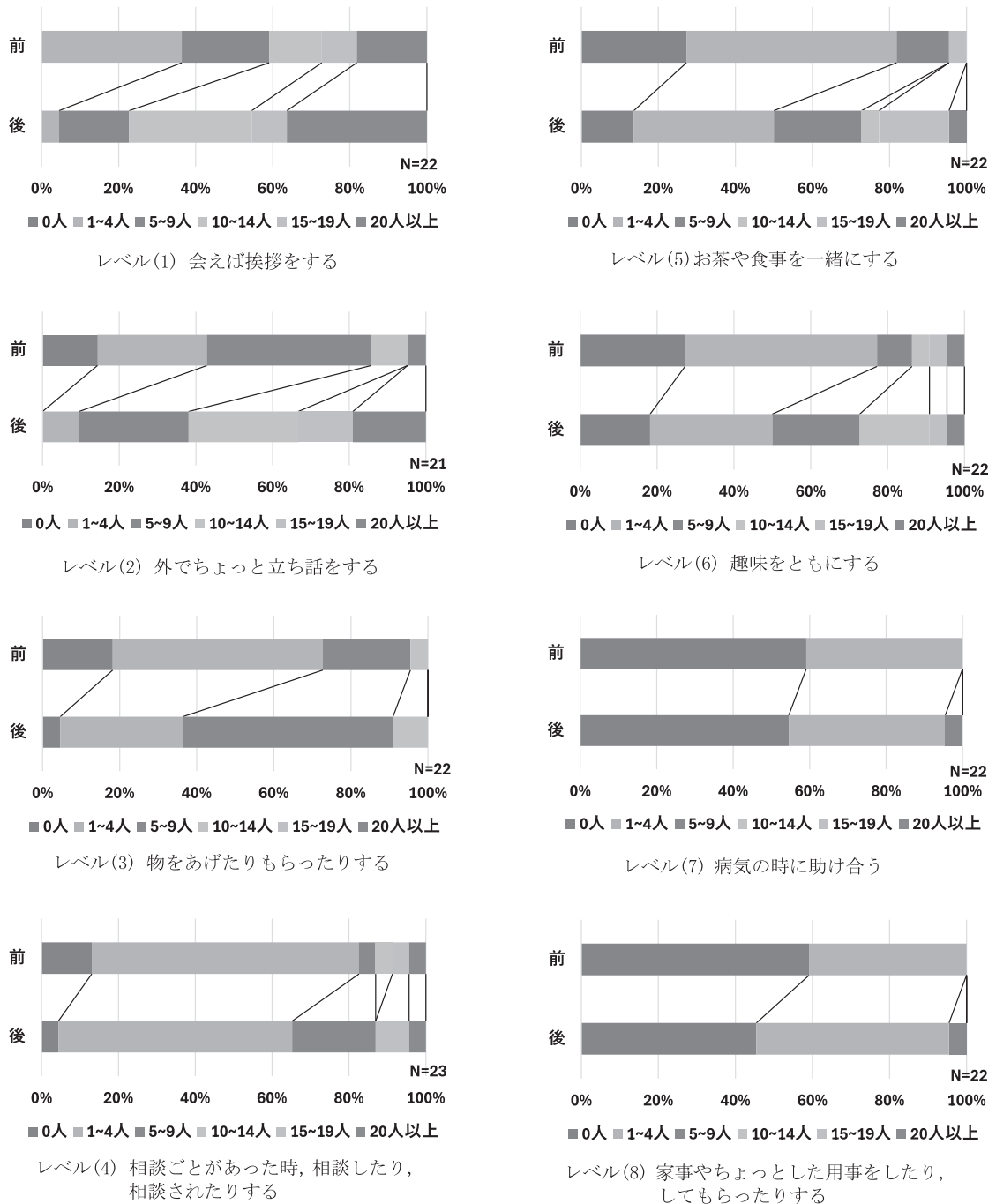


図7. 活動を通じた交流人数の変化

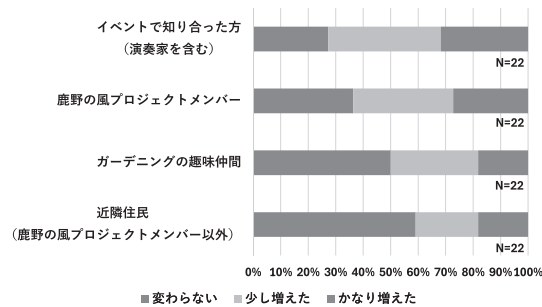


図8. 活動参加による交流頻度の変化

6. 活動に対する期待と課題

活動者へのアンケート調査において、里山オープンガーデンかの、わくわくガーデン、鹿野の風プロジェクトのそれぞれの活動の期待内容に関する質問（複数回答可）を行った（図9~11）。「地域の活性化」への期待が里山オープンガーデンかのは18/23人（約78.3%）、わくわくガーデンは16/23人（約69.6%）、鹿野の風プロジェクトは15/23人（約65.2%）と、最も多くなっており、次に「交流の促進」が多くなっている。「地区内の緑化」が3番目に多いことからこれらの活動が緑化につながる認識はあるが、緑化より地域の活性化の手段として考えている活動者が多いことが分かる。

インタビュー調査から活動の課題と効果をみていく。11名中3名が活動者の高齢化が進んでいる点を懸念していた。現在、地元の大学との連携や若い活動者への活動の引継ぎが徐々に行われており、鹿野の風プロジェクトの代表が行っていた補助金申請や発表の仕事を、メンバーの若い世代に移行している状況である。課題としては、現在の活動参加のきっかけは知り合いからの紹介が多いこと（1名）や鹿野地区の地域の人への関心が低い点（2名）が挙げられた。地域の人への関心が低い理由として、地元の人にとって山野草等の地域の景観は当たり前のものであり、オープンガーデンに参加する必要性を感じていないという意見がでた。活動への参加で、地域の魅力に気付くようになったという声もあり、活動者の輪を拡げることも重要だと考える。今後は、大学生との取り組みを積極的に行い、そこから活動に参加する年代の幅を広げていきたいという声（1名）が挙げられた。

これらから、鹿野の風プロジェクトは地域の活性化の活動として期待されていることが分かった。しかし、活動者の高齢化という課題から、若い世代や地域の人への関心をひき、活動参加を促すことの難しさを懸念していることが明らかになった。

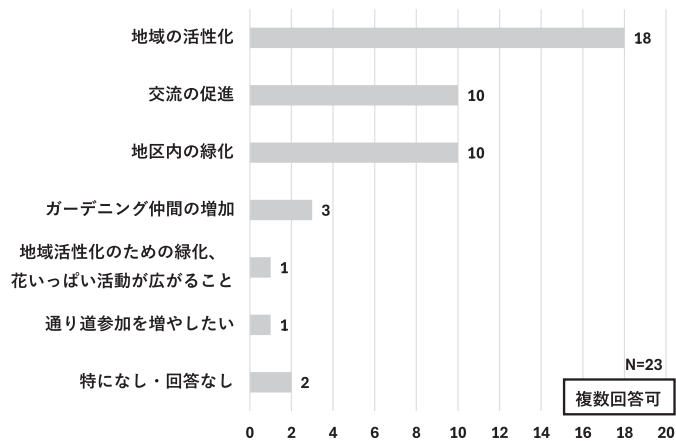


図 9. 里山オープンガーデンかのに対する期待内容

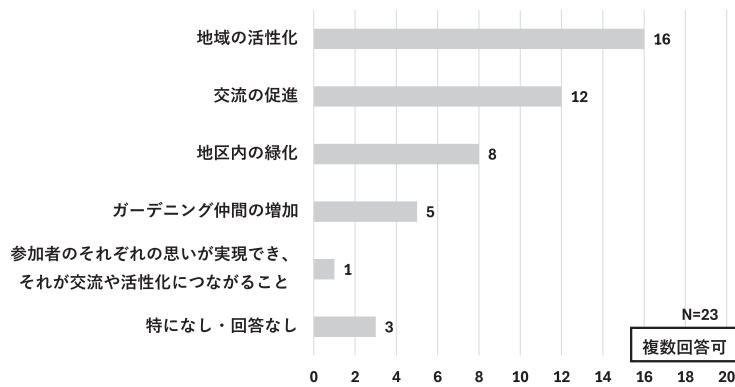


図 10. わくわくガーデンに対する期待内容

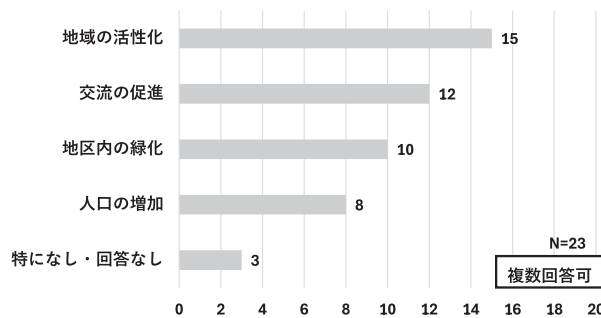


図 11. 鹿野の風プロジェクトに対する期待内容

7. まとめ

周南市の北部に位置する鹿野地区は、人口減少や高齢化が進むなか、市は豊かな自然を活かしたまちづくりを進めている。一方で、ボランティア組織の鹿野の風プロジェクトは高齢者を中心に、市の方針に基づき、既存の自然を活かしつつ新たな景観づくりを行うという地域性を活かした緑化活動を行い、地域の活性化をもくろみながら地域内だけでなく、地域外の人との交流にまでつながっていることが分かった。行政側も鹿野地区「ならでは」の町の

論文

活性化の方法として評価している。住民主体の活動として、植樹から始まり、里山オープンガーデンかみや木漏れ日コンサート等の新たな企画を加えながら、外部からの補助金で14年以上成り立っているという点で評価できると考える。加えて、メディアを通じた活動の発信やオープンガーデンのイベントを通じた鹿野地区以外の人への呼び込みにつながっている。

地域の活性化のための活動として、今後の開催継続への期待が高いが、課題として、次世代への引継ぎの難しさが挙げられている。活動メンバーは大学生との取り組みを積極的に行い、そこから活動に参加する年代の幅を若い世代へと広げていきたいと考えており、少しずつ大学との取り組みに力を入れている状況である。

高齢者福祉の観点からは、鹿野の風プロジェクトの活動が他者との交流の機会となっていることが分かった。緑化活動は高齢者にとって、生活において会話や体を動かすきっかけとなり、孤立の解消にもつながると考える。外部の人の意見を知り、地域の魅力に気付くきっかけをつくることで活動の継続や地域の活性化につながると考えられる。

謝辞

研究を進めるにあたり、アンケート調査にご協力いただきました庭主、鹿野の風プロジェクトメンバーの方々、鹿野総合支所、周南市市役所の方々、活動に関するインタビュー調査にご協力いただきました庭主、鹿野の風プロジェクトメンバーの方々並びに関係各位に心より深く感謝を申し上げます。

[注]

- 1)オープンガーデンとは、個人の庭等を一定期間、一般の人に公開する活動で、入園料を取るものやコミュニティの活性化として無料で行うもの等様々なものがある。
- 2)市民花壇制度とは、地域の環境美化とコミュニティづくりを目的として制定され、3人以上の市民グループが公園、街路、空き地等の一定面積に設置、育成、管理を行う活動に対して公共が管理費用の一部助成や花苗の配布等の支援を行う仕組みである。
- 3)周南市 HP 地区別年齢別人口（令和7年5月末住基人口）
<https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/20/2604.html>（2025.9.1 閲覧）
- 4)周南市版地域カルテ—鹿野地区—公益財団法人周南市ふるさと振興財団令和5年3月
https://furusatoshun.com/?page_id=1681
- 5)しゅうなん地域づくり応援サイト
<http://shunan-chiikijoho.jp/council/kano/#dreamplan>（2025.9.1 閲覧）
- 6)2020年～2024年は漢陽寺も庭に含まれチラシに掲載されていたが、拝観料があるため、表1ではカウントしていない。
- 7)アンケートの選択肢において、0人を0人、1～4人を2.5人、5～9人を7人、10～14人を12人、15～19人を17人、20人以上を22人として平均値を計算した。

8)国土地理院 地図

<https://maps.gsi.go.jp/vector/#7/36.104611/140.084556/&ls=vstd&disp=1&d=1>

〔文献リスト〕

- 赤澤宏樹, 中瀬勲, 1999, 「高齢者の緑化活動によるコミュニティ形成の構造に関する研究」,
『ランドスケープ研究』, pp631-634
- 大江万梨, 太田尚孝, 2020 「地域住民主体の緑化活動が継続的に成り立つ仕組みに関する研究 —
兵庫県神戸市が実施する市民花壇を事例として—」『都市計画報告集』18 巻, 4 号, pp 284-287
株式会社新周南新聞社 古民家「にゃんこばあちゃん家」の「おでかけえんがわ」
<https://www.shinshunan.co.jp/mirai/event/039103.html> (2025.9.19 閲覧)
- 河島敬, 上山肇, 2015 「日本におけるオープンガーデン活動に関する研究 —活動団体と実施地
域及び活動参加者数に着目して—」, 『日本建築学会大会学術講演梗概集 (関東)』
- 北川恵子, 岡山敏哉, 2004, 「ガーデニング活動によるまちづくりの可能性に関する研究」, 『日
本建築学会近畿支部研究報告集』, 44 号, pp689-692
- 周南市, 2021, 『周南市都市計画マスタープラン』
- 周南市, 2021, 『周南市緑の基本計画』
- 周南市地域振興部観光交流課, 2022, 『鹿野地域観光振興プラン』
- 高藤真弓, 2010, 「高齢期の孤独・孤立の要因分析とその解消にむけたソーシャルワークの
接近方法」, 『日本福祉大学社会福祉論集』, 125 号, pp53-78
- 内閣府, 2024, 『高齢社会対策大綱』
- 内閣府, 2011, 『平成 23 年度 高齢者の居場所と出番に関する事例調査結果』
- 内閣府, 2025, 『令和 7 年版高齢社会白書』